

2016年第2回極東経済フォーラムの業務報告

2016年9月2～3日、極東経済フォーラムが開催され、3500人の参加者と1100人の報道機関代表者が集まりました。外国からは56か国がこれに参加しました。最も人数が多かったのは、日本（246人）、中国（227人）、韓国（128人）でした。フォーラムのスローガンは「極東を開いて」でした。

9月2日に行われた極東経済フォーラムの開幕式では、同フォーラム組織委員会代表のユーリ・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表が挨拶に立ちました。

トルトネフ副首相は、「東方経済フォーラムは、極東がより急速に発展するために開催されている。成長のペース、新規投資プロジェクトの件数、この地方への投資の流れを見れば、このプロセスは始まったと言える。しかし、これはまだ道の始まりだと理解されている。2～3年後、システムが確固とした地位を占め、複合的で競争力のあるものになることを願っている。我々は、同地域の発展は何よりもここに新たな企業を設立する人々によってなされているのと理解している。彼らがこれをやり続けていくには、彼らには極東は発展しており、ここでは実際に仕事がうまくいくということを理解する必要がある。」と宣言しました。

1. 2016年東方経済フォーラムのビジネスプログラム

フォーラム最大のイベントとなったのは、ロシア連邦のウラジーミル・プーチン大統領、韓国のパク・クネ大統領、日本の安倍晋三首相の参加し

た、「極東を開いて」と題された全体会合でした。全体会合はユーロビジョン加盟機関のほか、日本や韓国のテレビ局など76局が中継しました。

フォーラムの枠内で、主に3つの分野が協議されました。

- 「投資家のための可能性」 (17 会議)
- 「投資家のための特惠」 (11 会議) ;
- 「極東の発展ーアジア太平洋地域の利益と新たな可能性」 (16 会議)

フォーラムの枠内で5つの国際ビジネス対話（「ロシアー中国」、「ロシアー韓国」、「ロシアードイツ」、「ロシアーASEAN」各ビジネス対話、日露ビジネスフォーラム）が行われたほか、6つの戦略会議（会議で参加者は司法・行政組織の代表者と、投資家たちによる鉱床への進出、地方発展の手段、北極海航路の新たな経済モデルなど地域の将来的な発展について協議）が開かれました。

ビジネスプログラムの枠内で総額1兆5000億ルーブルにのぼる34件の投資プロジェクトのプレゼンテーションが行われました。

そのほか、フォーラムでは以下の行事が行われました。

- 露中金融委員会会議
- 「東方のベクトル」社会評議会会議
- 「ロシアーASEAN」大学フォーラム
- アジア太平洋経済協力（APEC）教育会議

2. 参加者

今年のフォーラムにはロシア及び外国から 978 人のビジネス代表者が参加しました。

うち、以下を含む 207 人がロシア企業の代表者でした。

- アレクセイ・ミレル、公開会社「ガस्पロム」社長
- ゲルマン・グレフ、公開会社「ロシア貯蓄銀行」頭取
- ニコライ・シュリギノフ、公開会社「ルズギドロ」社長
- レオニド・ミヘリソン、公開型株式会社「ノヴァテク」社長
- オレグ・ブダルギン、公開会社「ロスセーチ（ロシア送電会社）」社長
- ヴィクトル・ヴェクセリベルグ、「スコルコヴォ」基金総裁
- マクシム・ソコフ、有限責任会社「En+ Management」社長
- セルゲイ・ゴリコフ 国営企業「開発対外経済銀行」（VEB）社長
- パヴェル・グラチョフ、公開会社「ポリュス」社長
- アナトリー・チュバイス、有限責任会社 投資会社「ロスナノ」社長
- ジヤヴジン・マゴメドフ、「スンマ・グループ」社長
- アンドレイ・ボカリョフ、非公開型株式会社「トランスマシホールディング」社長
- ドミトリー・ストラシノフ、連邦国家単一企業体「ロシア郵便」社長
- セルゲイ・カルギン、公開会社「ロステレコム」社長
- イゴリ・ジュジン、公開会社「メチェル」社長
- アレクセイ・レピク、非公開型株式会社「R-ファーム」社長
- ドミトリー・コノフ、有限責任会社「シブール」社長

- 「ガス」社長
- キリル・ドミトリエフ、有限責任会社 投資会社「ロシア直接投資基金」総裁
- アンドレイ・ムロフ、公開会社「連邦通信会社統一エネルギーシステム」社長

また **94**人の外国企業の代表者が英国、ヴァージン諸島、インド、中国、マレーシア、オランダ、ジャージー代官管轄区、韓国、米国、タイ、スウェーデン、日本から出席しました。主な出席者は以下のとおりです。

- ロバート・ダドリー、**BP CEO**、英国
- 飯島 彰己、三井物産株式会社 代表取締役会長、日本
- 重久 吉弘、日揮株式会社名誉顧問、日本
- シフ・ヴィクラム・ヘムカ、**SUN グループ副社長**、インド
- ハンス-ポール・バークナー、ボストン コンサルティング グループ 会長、米国
- イ・スンフン、韓国ガス公社社長、韓国

政府関係者のフォーラムへの参加は以下のとおりです。

- 副首相 4 人
- 大臣 14 人
- 官公庁長官 16 人
- ロシア連邦構成主体の長 10 人

外国政府関係者は以下のとおりです。

- ラオス、ハマニ・インティラット・エネルギー鉱山大臣
- 中国、陳雷水利部長
- モンゴル、ツェンド・ムンフオルギル外務大臣

- 中国、陳長治・全国人民代表大会常務委員会副議長

3. 報道機関

申請件数は **1113**（うち、ロシア 736、外国 377）でした。

申請したのは以下**18**の国と地域（ロシア除く）でした。

オーストリア、ベラルーシ、英国、ベトナム、ドイツ、香港、インド、イラク、カメルーン、中国、ニュージーランド、韓国、米国、トルコ、フランス、チェコ、スイス、日本

4. ボランティア

フォーラムの準備にはロシア各地域から **500** 人のボランティアが参加しました。

5. エキシビジョン

フォーラムでは以下のエキシビジョンが開催されました。

1. エキシビジョン「極東へようこそ！」では、優先的発展地域、投資のための可能性、加入方法、最初の居住者企業、極東連邦管区の主要部門、国際協力分野での政策、投資の可能性及び特惠、マクロ地域の大規模投資プロジェクトが展示されました。

エキシビジョンでは以下の連邦行政機関のブースが設置されました。

- ロシア連邦天然資源・環境省（連邦地下資源利用庁（ロスネドラ））
- ロシア連邦農業省
- ロシア連邦林業庁

- ロシア連邦漁業庁
- ロシア連邦観光庁
- ロシア連邦運輸省
- ロシア連邦産業貿易省

2. 「極東。野生の自然の里」－同地方の投資の魅力のファクターとしての極東の自然。希少動物と類まれな地形の保全、エコツーリズムの発展。

3. 2016年極東経済フォーラムのパートナーのビジネスゾーンがフォーラムの会場に拡大して設置され、フォーラムのパートナー企業のステータス及び業績を展示しました。

4. 優先的発展地域及び極東発展研究所の展示。

ウラジオストク自由港、極東開発基金、極東開発会社、優先的発展地域が同地域や投資の可能性、加入方法のほか、最初の入居者企業の成功の歴史を展示しました。

パートナーブース

パートナーのエキシビジョンでは、ルスギドロ、VTB銀行、ポリュス・ゴールド、マツダ、ロシア鉄道、ノリリスク・ニッケル、ナショナル・ケミカル・グループがブースを出したほか、ガスプロム、アルロサ、ロスネフチ、コルマルの各社がビジネスゾーンを設置しました。またザバイカル地方及びロシア輸出センターがブースを出しました。

協定への署名

第2回東方経済フォーラムでは、見込み総額16億3000万ルーブルを上回る201の協定が署名されました。

うち、大規模なものは以下のとおりです。

- ・ロシア極東開発省及び公開会社「シブール・ホールディング」間のイノベーションプロジェクト「アムール・ガス化学工場」実現化の意向に関する協定、投資額5000億ルーブル
- ・極東開発基金及び非公開型株式会社「ナショナル・ケミカル・グループ」間の沿海地方における無機質肥料製造工場建設に関する協定、投資額3705億ルーブル
- ・ロシア極東開発省及び有限責任会社「投資会社ポリュス」間のイノベーションプロジェクト「ナタルキン金鉱床における採掘加工会社建設」実現化に関する協定、投資額985億ルーブル
- ・ロシア極東開発省及び株式会社「アルロサ」間のイノベーションプロジェクト「ヴェルフネ・ムンスコエ鉱床ダイヤモンド採掘会社」実現化に関する協定、投資額630億ルーブル

ほか、重要な協定は以下のとおりです。

- ・極東投資誘致・輸出支援庁及び日本国際協力銀行（JBIC）間の、優先的発展地域推進及び同地域への日本投資家誘致のための日露プラットフォーム創設に関する協定
- ・露中農業開発基金の署名した初の2件の投資協定、投資額179億ルーブル、アムール・アグロ・ホールディング社及びラチミル社と共同
- ・極東開発基金及びロシア貯蓄銀行間の極東中小企業向け特別融資プログラム実現化の第一段階に関する協定、総額30億ルーブル
- ・ルスギドロ及び日本の三井物産間の技術協力協定

極東「ダイヤモンド・センター」の業務

株式会社「アルロサ」（公開会社）及び「KGK Diamonds Private Limited」社は、極東「ダイヤモンド・センター」敷地内でのダイヤモンド研磨工場設立に関する協定に署名しました。工場は **2016** 年末に稼動開始します。

宝石の国際取引及び加工のための場がこのプロジェクトです。ダイヤモンドクラスターには、ダイヤモンド原石の採掘・販売会社、ダイヤモンド及び宝飾品製造業者、宝石鑑定機関、銀行、輸送専門保険会社のほか、国家機関では特別税関出張所と国家管理局が加わります。

再建された **KGK** 法人は、以下の量の天然ダイヤモンドのカットを保証することになっています。

- ・ 2017～2018 年－6000 カラット
- ・ 2018～2019 年－9000 カラット
- ・ 2019～2020 年－12000 カラット
- ・ 2020～2021 年及びそれ以降－15000 カラット

ユーラシア・ダイヤモンド・センターの枠内で、フォーラムでウラジオストク第1回ダイヤモンドオークションが開催されました。インド、中国、日本の購入者に総額 1825 万 4000 ドル（11 億 8600 万ルーブル）のダイヤモンドが売却されました。

取引結果：**特殊サイズのダイヤモンドオークション**

1098.53 カラットのダイヤモンド 19 ロットが開始価格 954 万 5000 ドルでオークションにかけられました。すべてのロットが落札されました。

総額は 1463 万 6000 ドル（9 億 5100 万ルーブル） でした。

最大のサイズは 401.97 カラットの石 No.3 で、200 万ドルから競りが始まり、305 万 50 ドルで落札されました。

最も高額な石は 125.79 カラットで、280 万ドルからスタートし、364 万 717 ドルで落札されました。

カットダイヤオークション

136.06カラットのダイヤモンド 23 ロットが 278 万 2942 ドルでオークションにかけられました。すべてのロットが落札されました。

総額は **361 万 8000** ドルでした。

最大のダイヤモンドは40.25カラットで、64万802ドルから競りが始まり、70万6777ドルで落札されました。

最も高額なダイヤモンドは 20.31 カラットで、91 万 3950 ドルからスタートし、128 万 8888 ドルで落札されました。

投資システム「ヴォスホド」スタート

これは極東及びロシア金融市場発展の現代史における重要な節目となります。投資システム「ヴォスホド」は、証券発行者や投資家にとってスピーディーで使いやすく、直感的に分かりやすいプラットフォームをもち、取引はコンピューターや携帯電話を利用し数回クリックすると成立します。

このシステムは、優先的社会経済発展地域及びウラジオストク自由港の枠内で実現化されるものを含む、ダイナミックに発展する会社や極東地方のプロジェクトへの株式及び借入資本を誘致するためのものです。

投資システム「ヴォスホド」により、金融市場に新たな種類の会社が参入できるようになり、新たな階級の投資家を引き込むことが可能となります。基金の審査にプロジェクトの合格した**企業 16 社**が、すでに有価証券を発行しています。

わずか**1 日**で個人投資家によって**総額 1 億 4300 万ルーブル**が購入申請されました。公開型株式会社「ハバロフスク空港」の子会社で（新）ハバロフスク国際空港の地上メインオペレーターである「アヴィアターミナル」社の債権に、モスクワ、サンクトペテルブルグ、ヴォルゴグラード、ウファ、その他 33 のロシア国内都市の住民が投資しました。

参考：ロシアの個人貯蓄額は 23 兆ルーブル。中国の銀行では 20 兆ドルと なっています。投資システム「ヴォスホド」を利用してこの資金を引き寄 せる努力をしていくこととなります。

6. スポーツ・文化プログラム

フォーラムのスポーツプログラムの枠内で、アムールトラとアムールヒョ ウ保護のチャリティーレース及びセーリングのプラトー級レースが開催さ れました。

東方経済フォーラム文化プログラムの枠内で、「極東の道」フェスティバ ル、チャリティーコンサート「英雄のシンフォニー」が開かれました。こ のコンサートは全ロシア子供センター「オケアン（大洋）」の子供たちの ために開催されたもので、マリインスキー劇場のオペラとバレエのソリス トが参加して行われました。フォーラム会期中、ロシアの生物多様性の保 全と希少動物の保護プログラムの支援を目的としたチャリティーオークシ ョン「自然を助けよう.RF」が開かれました。

フォーラム会期中全日、マリインスキー劇場沿海地方劇場、地方フィルハ ーモニー、沿海地方劇場で公演が準備されました。

7. 安全

ロシア内務省からは職員 3500 人以上が 2016 年東方経済フォーラムの警備 活動にあたりました。ロシア非常事態省からは職員 1200 人以上、機器 200 機以上で非常事態及び水域での安全確保に従事しました。

8. ロジスティック（移動手段及び宿泊）

フライト

フォーラムのオフィシャルエアラインはアエロフロート・ロシア航空です。「モスクワーウラジオストクーモスクワ」ルートの航空券 1500 枚がフォーラム代表者のために特別に用意されました。参加者の「アエロフロート・ボーナス会員口座」の「航空券予約」から、2016年8月30日から9月1日までの「モスクワーウラジオストク」、2016年9月3日から5日までの「ウラジオストクーモスクワ」のフライトを予約することができました。また報道機関には300席のチャーター便が計画されました。

自動車

マツダよりフォーラム参加者のために CX-5 を 50 台、マツダ 6 を 100 台提供されました。

宿泊

参加者および報道機関代表者のために極東連邦大学のキャンパスを含むウラジオストクのホテル 5500 室が予約されました。

9. インフラ

東方経済フォーラムは、アヤクス湾（ルースキー島）沿岸の極東連邦大学の近代的なキャンパスで開催されました。極東連邦大学キャンパスは、ロシア東部及びアジア太平洋地域で大規模な国際行事を実施するにあたり最もよく知られた場所です。同大学は重要な交通結節点に近接しています。ウラジオストク（クネヴィチ）国際空港から大学までの所要時間はおよそ45分です。

ビジネスイベント開催用の5つのビジネス会場は総面積が5500平方メートル、展示場面積は9000平方メートル、会場すべての収容人数は100～900人となっています。

キャンパス内のホテル施設には客室数がそれぞれ241室の5つの棟があります。各棟ともプレジデンシャルスイート6室、スイートルーム13室、スタンダードルーム222室が用意されています。

ホテルのレセプションは24時間営業しており、従業員はチケットの予約やタクシーの手配をお手伝いします。ホテル内には快適なラウンジと荷物預かり所があります。キャンパスのすべての建物が身障者向けの設計になっています。ゲストの便利のためにすべての棟のホワイエにATM、キオスク端末、自動販売機が設置されています。

東方経済フォーラムのゲストのために、トレーニングマシーンを完備したスポーツジムとフィットネスジム、屋内プール、広いトレーニングジム、サッカー場、テニスコート、陸上競技用トラックを含む野外・屋内運動場があります。

10. 情報サービス

今年、フォーラム参加者には以下の情報サービスが提供されました。

- 携帯電話用アプリ（フォーラムのプログラム及び報道陣向けのプログラムに関する情報の受信、敷地内でのナビゲーションシステムの利用、会議中継の視聴、メッセージの送受信、会見の指定、フォーラムでの個人スケジュール作成が可能）
- 東方経済フォーラムフォトバンク（ビジネスプログラム及び文化プログラムの高画質の画像の閲覧及びダウンロード。同サービスは携帯電話での閲覧に対応しています）

- フォーラムの会議及びテレビ局の VTR の中継（極東連邦大学の全棟でのフォーラムの全体会合及び重要な催し物の生中継、大規模なロシア及び外国テレビ局の VTR の放送）
- 2016 年極東経済フォーラムサイト上でのビジネスプログラムのインターネット放送（放送内容のアーカイブは催し物の終了後に東方経済フォーラム公式サイトでご利用いただけます）
- フォーラムの枠内で「ロスコングレス」オープンスペースが開設されました。これはビジネス及び政治の指導者、さまざまな部門の専門家との対話スペースです。フォーラム閉会后、資料は東方経済フォーラム公式サイト及び SNS に掲載されます。
- SMS 通知、その他

11. パートナー

フォーラム準備の枠内で、今年には以下の 29 のパートナーが参加を承認しました。

1. ジェネラルパートナー

1.1. ロスネフチ

1.2. ルスギドロ

1.3. ガスプロム

1.4. ガスプロムバンク

2. オフィシャルパートナー

2.1. アルロサ

2.2. VTB 銀行

2.3. コルマル

2.4. ノリリスク・ニッケル

- 2.5. ロシア鉄道
- 2.6. ポリユス・ゴールド
- 2.7. ナショナル・ケミカル・グループ
- 2.8. ロシースキエ・セーチ
- 2.9. FGC UES
- 2.10. ロスアトム
- 2.11. ロシア貯蓄銀行

3. ビジネスプログラムのパートナー

- 3.1. 実業ロシア
- 3.2. ノヴァテク
- 3.3. ルスアグロ
- 3.4. EN Plus
- 3.5. サハリン・エナジー・インベストメント

4. 組織パートナー

- 4.1. ヴォストチヌィ港
- 4.2. SIGMA
- 4.3. エブラズ・グループ
- 4.4. Coca-Cola
- 4.5. ESN グループ
- 4.6. サハリン・エナジー・インベストメント社
- 4.7. シベリア石炭エネルギー会社

5. フォーラム公用車

- 5.1. マツダ

6. フォーラムオフィシャルエアライン

6.1. アエロフロート

12. 事業組織者

事業組織者の「ロスコングレス」基金は、サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムの組織と運営のために2007年に設立されました。2015年12月に再編された後に現在の名称に変更されました。基金は、経済社会分野の国際会議及び展示会の組織・実行によるロシアの経済的ポテンシャル及びイメージの強化、それらの内容の策定、組織や企業へのコンサルティング支援、情報支援、専門的支援の提供、ロシア及びグローバルな経済問題の全面的な調査、分析、報道を目的としています。